

試験問題が解けた！ 第27回全国M式水耕技術研究大会(千葉)

7月18日～19日の2日間にわたって第27回M式全国大会が、千葉県で開催されました。120名の参加者のもと、18日の会議・講演、19日の白子地区生産団地見学と、天候にも恵まれた中で無事終了することができました。

今年の大会は、「生き残れる生産者を目指して」のテーマとし、21世紀に生き残りをかけて、そのヒントを見出さずにはいられないで企画を進めてまいりました。表彰団体となられたグリーンズプラント巻(新潟)・三菜寿(宮城)殿の事例発表にみられる様々な工夫、講師のナフコはせ川副社長・長谷川文雄氏の流通一筋からの生産者に求められる意

識・取り組み姿勢、阿部社長から新生Mへの取り組み、白子地区の大規模生産団地見学、また、全国から集まった生産者同士の情報交換と盛りだくさんの内容でした。どうしようかと悩んだけど参加して良かったとの声を多くいただき主催側として喜んでおります。かなりの方々、この大会で、生き残りのヒントをつかんで帰っていただくことができたのではと思っております。

懇親会は、弊社阿部新社長就任披露としてM式水耕主催で開催させていただき、こちらも多くの方々から、激励のお言葉をいただき本当にありがとうございました。また、地元千葉地区の方々に

は、地区大会をかねて多数の参加で盛り上げていただきました。石川大会会長、東物青木社長、アグリビジネス高橋会長、全国からの参加者各位、見学協力いただいた白子地区会員など、たくさんの方々のおかげで、大会が無事終了することができました。「ありがとうございましたのお礼の言葉と共に、今年都合で参加できなかった方々も、来年はぜひ会場でお目にかかれまことを祈念し、報告、お礼の言葉とさせていただきます。(実行委員長 神谷高裕)



熱心に話を聞く参加者各位(ホテルセントラージ成田)



白子トマト団地見学(白子GF)

会長賞(グリーンズプラント巻) 殿

社長賞(三菜寿)殿

サラダ菜(白子GF)

ネギ(長生)



長谷川文雄氏講演から



21世紀は命がけの時代である
取り組み姿勢が問われる。命がけで取り組まないとダメ。努力していればいい目にあうのは当たり前である。本気でやること。

自信を持ちましょう

例えば、生産品に、どこにも負けない自信がありますか。そのためにこうやってる・・・と自信を持って訴えられますか。

生き残りは販売にかかっている

- ・生産者の顔が見える販売を
- ・市場(いちば)にまかせたやり方からの脱皮を、市場の先(販売店・消費者)を追いかける。
- ・原価把握し、いくらで買ってほしいと、販売先と直接面談、時には店頭立ち、消費者と意見交換、そこそこの利益で、ぼろ儲けを狙ってはダメ。
- ・物作り側と、販売側の会議をちゃん

と開いて意見交換、取り組みを

21世紀は難しくない。少しでいい。うまい物が食べたい。体にやさしい食品がほしい・・・時代である。みなさんはそんな食材の供給ができるはずである。と長谷川氏でした。

阿部新社長就任披露

たくさんの方々に激励いただき、ありがとうございました。

